

補正書の請求の範囲

[2005年8月25日(25.08.05)国際事務局受理:出願当初の請求の範囲14、16、18、20及び25は補正された;出願当初の請求の範囲11-13、17、19及び21-24は取り下げられた;他の請求の範囲は変更なし。]

部に記憶されている前回の通信エラー率と前記検出部により検出された今回の通信エラー率とを基に前記家電機器との伝送速度を設定することを特徴とする請求項7記載の通信処理装置。

- [9] 前記設定部は、前記記憶部に記憶されている前回の通信エラー率と前記検出部により検出された今回の通信エラー率とがともに所定のしきい値以上の場合に今回の通信エラー率が検出された伝送速度より低い伝送速度を設定し、前記記憶部に記憶されている前回の通信エラー率と前記検出部により検出された今回の通信エラー率とがともに所定のしきい値より低い場合に今回の通信エラー率が検出された伝送速度より高い伝送速度を設定することを特徴とする請求項4、6及び8のいずれかに記載の通信処理装置。

- [10] 家電機器をネットワークに接続する通信処理装置に内蔵されるマイクロコンピュータを、
前記家電機器とデータを送受信する通信部と、
前記家電機器との通信エラー状況を検出する検出部と、
前記検出部により検出された通信エラー状況を記憶する記憶部と、
前記記憶部に記憶されている前回の通信エラー状況と前記検出部により検出された今回の通信エラー状況とを基に前記家電機器との伝送速度を設定する設定部として機能させることを特徴とする通信プログラム。

[11] (削除)

[12] (削除)

[13] (削除)

- [14] (補正後) 家電機器をネットワークに接続する通信処理装置であって、
前記家電機器とデータを送受信する通信部と、
前記通信処理装置が設定可能な複数の伝送速度を保持する保持部と、
前記通信部により受信された前記家電機器が設定可能な複数の伝送速度と前記保持部が保持する複数の伝送速度とを基に伝送速度を設定する設定部とを備え、
前記通信部は、前記設定部が伝送速度を設定する前に、前記設定部が設定する予定の伝送速度を通知するための伝送速度通知を前記家電機器に送信し、

前記設定部は、前記通信部により受信された前記家電機器からの伝送速度通知に対する応答により通知された伝送速度と、設定する予定の伝送速度とが一致する場合に伝送速度を設定し、

前記通信部は、前記設定部が伝送速度を設定した後に、設定した伝送速度で前記家電機器と通信可能であることを確認するための確認用データを前記家電機器に送信することを特徴とする通信処理装置。

- [15] 前記通信部は、前記家電機器からの伝送速度通知に対する応答を受信した時から所定時間経過した後に、前記確認用データを前記家電機器に送信することを特徴とする請求項14の通信処理装置。

- [16] (補正後) 家電機器をネットワークに接続する通信処理装置に内蔵されるマイクロコンピュータを、

前記家電機器とデータを送受信する通信部と、

前記通信処理装置が設定可能な複数の伝送速度を保持する保持部と、

前記通信部により受信された前記家電機器が設定可能な複数の伝送速度と前記保持部が保持する複数の伝送速度とを基に伝送速度を設定する設定部として機能させ、

前記通信部は、前記設定部が伝送速度を設定する前に、前記設定部が設定する予定の伝送速度を通知するための伝送速度通知を前記家電機器に送信し、

前記設定部は、前記通信部により受信された前記家電機器からの伝送速度通知に対する応答により通知された伝送速度と、設定する予定の伝送速度とが一致する場合に伝送速度を設定し、

前記通信部は、前記設定部が伝送速度を設定した後に、設定した伝送速度で前記家電機器と通信可能であることを確認するための確認用データを前記家電機器に送信することを特徴とする通信プログラム。

- [17] (削除)

- [18] (補正後) 通信処理装置を介してネットワークに接続される家電機器であって、

前記通信処理装置とデータを送受信する通信部と、

前記通信処理装置との通信エラー状況を記憶する記憶部と、

前記記憶部に記憶されている過去の通信エラー状況を基に前記通信処理装置との伝送速度を設定する設定部とを備え、

前記記憶部は、前記通信処理装置と通信できなかった伝送速度を記憶し、

前記設定部は、前記通信処理装置と通信できなかった伝送速度が前記記憶部に記憶されている場合、前記通信処理装置と通信できなかった伝送速度より低い伝送速度を設定することを特徴とする家電機器。

[19] (削除)

[20] (補正後) 通信処理装置を介してネットワークに接続される家電機器に内蔵されるマイクロコンピュータを、

前記通信処理装置とデータを送受信する通信部と、

前記通信処理装置との通信エラー状況を記憶する記憶部と、

前記記憶部に記憶されている過去の通信エラー状況を基に前記通信処理装置との伝送速度を設定する設定部として機能させ、

前記記憶部は、前記通信処理装置と通信できなかった伝送速度を記憶し、

前記設定部は、前記通信処理装置と通信できなかった伝送速度が前記記憶部に記憶されている場合、前記通信処理装置と通信できなかった伝送速度より低い伝送速度を設定することを特徴とする通信プログラム。

[21] (削除)

[22] (削除)

[23] (削除)

[24] (削除)

[25] (補正後) 請求項1～9、14及び15のいずれかに記載の通信処理装置と、請求項18に記載の家電機器とを備えるホームネットワークシステム。

条約 19 条に基づく説明書

国際調査報告書において、新規性及び進歩性がないと判断された請求の範囲第 11～13、17、19、21～24 項を削除するとともに、新規性及び進歩性があると判断された請求の範囲第 14、18 項は独立項に補正し、請求の範囲第 16 項は補正前の請求の範囲第 13、14 項の内容を含むように補正し、請求の範囲第 20 項は補正前の請求の範囲第 18 項の内容を含むように補正し、請求の範囲第 25 項は削除されていない請求の範囲各項を引用するように補正した。